

基本的な審査項目および審査内容

1. 利用者の平等な利用の確保およびサービスの向上が図られるものであること。
 - (1) 利用者の平等な利用が確保できる内容となっているか。
 - (2) 体育館の設備および機能を十分に活用した内容となっているか。
 - (3) 利用者のサービス向上につながる事業計画となっているか。
 - (4) 利用率の向上が見込まれる事業計画となっているか。
 - (5) 利用者等の意見およびニーズを積極的に把握し改善する体制となっているか。
2. 体育館の適切な維持および管理ならびに管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
 - (1) 管理運営体制が明確であり、利用者の安全を確保する内容となっているか。
 - (2) 複合施設として総合管理に配慮した管理運営内容となっているか。
 - (3) 災害や事故その他緊急時の危機管理体制が確立されているか。
 - (4) 管理運営経費の削減に取り組む内容となっているか。
 - (5) 収入額が支出額を上回った場合において、区への貢献（還付金）の提案はあるか、またその内容は十分か。
3. 体育館の管理を安定して行う物的能力および人的能力を有していること。
 - (1) 区内および他自治体における同種の屋内スポーツ施設の運営実績および建物維持管理実績を有しているか。
 - (2) 収入、支出の積算と管理計画の整合性が図られており、収支計画の実現可能性はあるか。
 - (3) 経営状況は安定しているか（経営分析による評価）。
 - (4) 職員の人員配置計画は適切か。
 - (5) 職員の研修および利用者からのクレーム対応の体制は十分に整っているか。
4. 体育館の設置目的を達成するために十分な能力を有していること。
 - (1) 体育館の効用を最大限に発揮させる運営方針となっているか。
 - (2) 区および区内スポーツ団体との連携が図られた事業運営となっているか。
 - (3) 学校、地域、関係団体等との連携が図られているか。
 - (4) 各種事業（フリー利用・初心者教室、トレーニング室運営）の内容は具体的かつ魅力的であり、費用対効果を十分に考慮したものとなっているか。
 - (5) 自主事業の内容は施設の公共性と設置目的を踏まえた効果的なものとなっているか。